
僕と友達のスーリーズ

佐々餓鬼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と友達のストーリーズ

【Nコード】

N5747Q

【作者名】

佐々餓鬼

【あらすじ】

中学二年生になった主人公すぐるの周りでいろんな出来事が起こる。バカや恋の青春ストーリー！。

耕也の変動（前書き）

ども作者の佐々餓鬼です。今回はご覧になりありがとうございます。ぜひ飽きずにご覧ください。

耕也の変動

春が来て僕は中2になった。

僕は岩手県盛岡市に住む佐々崎すぐる。

僕にはゆかいな友達がいっぱいいる。

女たらしで鼻水をいつつもたらししている 田千 耕也

スポーツ万能でイケメンな 井久名 京介

何やつてもだめだめな 川畑 犬矢

メガネがかっこいい 田森 ナオヒロ

遅刻が大好きな 岡石 平光

そして 立橋 龍

後、学校のプリンス 岡崎 美保

学校が始まってから一週間がたつたある時、

耕也「俺好きな人ができた・・・」

平光「どうでもいいわ」

龍「誰誰???」

耕也「それは・・・こえばる りなん」

すぐる「う・・・ん・・・良いと思う」

この後、耕也はどうするのか!!!?

耕也の変動（後書き）

今回は初めての作品でとつてもかすいですがどうぞがまんしてください。
からもよろしくお願いします。

耕也の結末（前書き）

耕也の結末をご覧いただきありがとうございます。 前回は耕也がク
ラスの地味っ子こえはるちゃんを好きになってしまいました。 さあ
はたして耕也はどうなるのでしょうか。

耕也の結末

くあらすじく

前回こうやはこえばるちゃんを好きになっていた。

．．．．．

耕也「こえばるちゃん俺の事どう思ってたのかな」

すぐる「俺が聞いてきてあげようか」

耕也「えつまじで！じゃあ聞いてきてよ！」

京介「じゃあ俺も行く」

そして、すぐると京介はクラスの井丸と話しているこえばるさんの所へ行った。

すぐる「こえばるさん．．よっす」

こえばる「どーも」

すぐる「突然だけど好きな人いる???」

こえばる「えあたしマリオとポケモンの裏技とゲームしか興味ないから」

京介「．．．．．」

すぐる「こえばるさん何か耕也がこえばるさんの事好きなんだって」

こえばる「えあたし井丸とできてんだ。ねーねー井丸マリオがジャンプするときの音を鼻でやってみてー」

井丸「プウウン」

京介「．．．．．」

そうしてすぐると京介はストープにあったまってる耕也、犬矢、田森、岡石、龍の所へ行った。

耕也「何だって???」

すぐる「何か井丸とできてんだって」

京介「．．．．．」

耕也「そっかぁ．．．まあいいや」

すぐる「そうだよ。またすきなひとできるって」

龍「うるせんだよ。リア充が！」

すぐる「……………」

耕也「……………」

犬矢「……………」

田森「……………」

京介「……………」

岡石「……………」

こうしてまた普通の生活に戻った。

耕也の結末（後書き）

耕也の結末ご覧いただきありがとうございます。こんな感じでどんどん連載していくのでこれからもよろしくお願いします。

黒と白の逆転（前書き）

三話目をご覧になっていたくださありがとうございます。今回はなかなか京介君が問題になっているらしいです。

黒と白の逆転

いつしか京介は黒より白を選ぶようになっていた。

耕也「やっぱり女の子は黒髪が良いよな」

すぐる「分かる！変に髪色変えられても何もときめかないよな」

田森「俺は茶髪が良い」

耕也「京介は???」

京介「俺は白髪の方が良い」

すぐる「……………」

耕也「……………」

そう京介がこうゆうのは理由があつた。

京介「手紙書くの手伝って」

すぐる「めんど」

耕也「そんなの自分で考えろ」

京介「えーだつて書くことが分かんない」

龍「良いよなーめぐまれてるやつは!」

耕也「そうだそうだ」

京介「良いから考えよ!」

こうゆう風に元彼女の吉川マリカとのいちゃいちゃを満喫していた。

そんな時出来事はいつペンした。

崎山「なんかマリカが言いたい事あるんだって。だから一人でいて」

京介「うん」

そして、マリカが来た。

マリカ「はい」

京介「どーも」

中は別れを告げる内容だつた。

こうして、京介は黒が嫌いになった。

だが、どうして白なのか!? 次回はその謎が明らかに!!

黒と白の逆転（後書き）

第三話をご覧いただきありがとうございます。京介編になり白が好きになった理由があきらかになります。次回もぜひご覧ください。

白への思いと黒への思い（前書き）

ちよつと白にちが空きましたが四話目ご覧にいただきありがとうございます。
ざいます。今回は、白についての謎が明らかになります。
どうぞご覧あれ。

白への思いと黒への思い

前回のあらすじ

「京介はふられた」

耕也「ああ京介に話かけずれーな」

すぐる「確かに・・・いきなりすぎるもんな」

京介「水飲みに行こう・・・」

耕也「いや・・・いい」

すぐる「のどかわいてない」

犬矢「一勉強つてないから・・・」

田森「うんこならいいけど・・・」

平光「だるい」

龍「寒い」

京介「いや、龍君には言つてない」

龍「ひどー京介」

こうして一カ月がたったころ。

すぐる「あのスターセブンかわいくね!？」

京介「分かる」

平光「お前・・・まえの彼女はいいのか!??わら」

京介「いいしあんなやつ」

京介「すぐる、スターさん見に行こう」

すぐる「しょうがないなー」

こうしてなかなか届きそうもない気になっている程度の京介の恋がまた始まった。

NG京介は扇風機おばさんに告られていた・・・

白への思いと黒への思い（後書き）

白への思い黒への思いご覧になりありがとうございます。京介君はこれからも応援してやってください。次回は犬矢編です。どうぞお楽しみに。

犬矢と井丸の大冒険（前書き）

ども佐々餓鬼です。今回は犬矢編です。どうぞご覧ください。

犬矢と井丸の大冒険

犬矢は初めて恋をした。

耕也「お前好きな人言えよ」

犬矢「何で言わなきゃいけないんだよ」

耕也「あーお前せこー。人のだけ聞いておいてよ」
すぐる「そうだぞ」

京介「言えよ」

犬矢「分かったよ。いうよ」

そして、トイレに行った。

すぐる「早く言えよ」

耕也「遅れるから早く」

犬矢「ほら、あの四組の・・・」

耕也「えっ・・・誰???火曜市??」

犬矢「ちげーよ」

すぐる「優貴奈??」

犬矢「ちがう。あの剣道部の・・・」

京介「あっあの恨見恵美だ!!」

犬矢「そう・・・」

そして、犬矢は一週間からかわれた。

すぐる「犬矢とか恨見じゃん」

犬矢「俺もうちげーよ」

京介「変わるのはや」

犬矢「俺、井丸と旅出るわ」

そして、井丸と犬矢の旅が始まる。

犬矢と井丸の大冒険（後書き）

けんやと井丸の大冒険をご覧いただきありがとうございます。
これからよろしく願います。

いざ旅へ（前書き）

犬矢はからかわれたショックによりこえばるの彼氏井丸に修行してもらったため旅に出ることを決心した。さあ犬矢は生まれ変わることができるのか・・・???

いざ旅へ

あらずじ

「犬矢は旅に出た」

犬矢「井丸先輩よろしくお願いします」

井丸「ライダーキック」

犬矢「おふえ」

井丸「何でついてくんねん」

犬矢「バカにされたくないんです」

井丸「いやいやもう君その言葉バカにしてるよね」

犬矢「ん???」

井丸「お前俺にそんな理由で来てたらおかしいよ? 俺の方がバカにされてんだぞ! 田森にはダブルパンチとかやられるしさ、耕也には浣腸されるしさ、すぐるには見ただけで笑われるしさ・・・」

犬矢「井丸・・・つらい???」

井丸「そりゃあつらいよ。やりかえせば楽しそうだしさ」

犬矢「井丸さんあざっす。俺あんたよりはましだぜ。ありがとな、じゃあな」

井丸「プウン」

こうして、犬矢は井丸に元気をつけられた。

いざ旅へ（後書き）

犬矢編ご覧いただきありがとうございます。今まで書いてた中で一番つまんなかったです。次にご期待を・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5747q/>

僕と友達のストーリーズ

2011年10月8日17時24分発行